

日々の祈り

2024年4月15日(月)~20日(土)

宮崎中部教会



<はじめに>

それぞれの日々の生活の中で、神さまに心に向け、御言葉を聞き、祈りをもって過ごしましょう。教会のために、兄弟姉妹のために、隣人のために、祈りを合わせましょう。

<使い方>

毎日の御言葉を、可能であれば声に出して、二回以上読んでみましょう。御言葉をじっくりと味わい、聖霊に導かれるままに、祈りの時をもちましょう。

<今週の祈りの課題>

- ・一人でも多くの者が主の招きに応えて、イエスさまに従う者となることができるように。
- ・嘆き悲しみを覚えている兄弟姉妹、体の弱さや痛みを覚えている兄弟姉妹に、慰めと癒しがあるように。
- ・一週間、全国の教会のそれぞれの祈りの課題と、伝道の働きを覚えて祈りましょう。

15日(月)

マタイによる福音書 4章 25節

こうして、ガリラヤ、デカポリス、エルサレム、ユダヤ、ヨルダン川の向こう側から、大勢の群衆が来てイエスに従った。

昨日の主日礼拝の御言葉です。「山上の説教」でイエスさまの「幸いである」との御言葉を聞いたのは、「わたしについて来なさい」と呼ばれてイエスさまに従った弟子たちと、御国の福音を聞き、病をいやされてイエスさまに従ってきた大勢の群衆でした。それはまさに、彼らの目の前におられるイエスさまご自身が、従ってきた者たちの悩みも罪も死もすべてを担い、彼らの上に神のご支配を実現してくださるお方だからです。

16日(火)

イザヤ書 50章 10節

お前たちのうちにいるであろうか／主を畏れ、主の僕の声に聞き従う者が。闇の中を歩くときも、光のないときも／主の御名に信頼し、その神を支えとする者が。

イエスさまの御声に聞き従うことは、わたしたちにとって最も幸いなことです。イエスさまが共にいてくださるなら、闇の中を歩くときも、光のないときも、イエスさまが道を照らし、イエスさまが支えとなってくださるからです。

17日(水)

マタイによる福音書 11 章 28～30 節

「…疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。わたしは柔和で謙遜な者だから、わたしの軛を負い、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる。わたしの軛は負いやすく、わたしの荷は軽いからである。」

イエスさまのもとに行くこと。イエスさまに従うこと。それは、疲れを癒していただくことであり、重荷をイエスさまに委ね、休ませていただくことです。イエスさまに従うことは、イエスさまに置いて行かれないように必死にしがみついたり、厳しい修行を乗り越えるようなことではなくて、イエスさまに信頼して、すべてを委ねて、安らぎをいただくことなのです。

18日(木)

イザヤ書 46 章 3～4 節

わたしに聞け、ヤコブの家よ／イスラエルの家の残りの者よ、共に。あなたたちは生まれた時から負われ／胎を出した時から担われてきた。同じように、わたしはあなたたちの老いる日まで／白髪になるまで、背負って行こう。わたしはあなたたちを造った。わたしが担い、背負い、救い出す。

わたしたちをお造りになった神さまは、生まれたときから、老いる日まで、始まりから、最後まで、わたしたちを担い、背負い、救い出してくださるお方です。神さまに従うとは、イエスさまに従うとは、わたしたちを救い出してくださるその愛の御手に、安心して身を委ね、担われ、背負われていくということなのです。

19日(金)

エレミヤ書 31 章 31 節

見よ、わたしがイスラエルの家、ユダの家と新しい契約を結ぶ日が来る、と主は言われる。

明後日の主日礼拝の御言葉です。神さまは、イスラエルの民と契約を結ばれましたが、民は神さまに背き、契約を破りました。しかし、神さまはそれで民を見捨てられることはなく、新しい契約を結ぶことを約束してくださったのです。それこそ、イエスさまの十字架の血によって立てられる新しい契約であり、イエスさまを信じる信仰によって、すべての者が救われ、神の民とされるという、恵みの契約だったのです。イエスさまは、この新しい契約に、人々を招いてくださいます。

20日(土)

マタイによる福音書 5 章 1 節

イエスはこの群衆を見て、山に登られた。腰を下ろされると、弟子たちが近くに寄って来た。そこで、イエスは口を開き、教えられた。「心の貧しい人々は、幸いである、／天の国はその人たちのものである。…」

明日の主日礼拝の御言葉です。イエスさまが山上で弟子たちや群衆に教えを語られた場面は、旧約聖書において、神さまがモーセを通してシナイ山でイスラエルの民と契約を結び、神の律法（十戒）を与えられた場面と重なります。イエスさまはここで、ご自分の十字架と復活の御業による新しい契約によって、新しく与えられる神の律法を人々に教えようとしておられるのです。